

3面から続く

大切なことは、山ほどあってまだ書き足りないくらいです。私は、家庭教育が教育の基本だと考えています。「学校に通い始めた安心ではなく、家庭での子どもとの関わりが大切だと思うであります。心を通じ合い、親が子どもから信頼できる最高のパートナーだと思つてもらおることが重要です。『自己肯定力』も大事です。力を育てるには、絶対に子どもを入れ比べないことです。たくさ

くあります。だからこそ、家庭での子どもの安心感は、家庭での子どもの心を通じ合い、親が子どもを育つて、親が育んでいくんですね。子育てって、報われるものなんですが、父親の役割として重要なことは何でしょうか。

私の言うことは、ちょっとハードが高いんですが、いいですか？

（笑）。例えば、母親が突然病氣で倒れたとします。「それでも大丈夫！」という父親であつてほしいと思います。『子どもの下着がどう



ユニセフの活動にも尽力してきたアグネスさん。大型サイクロンの被害を受け、フィジーの小学校に設置された仮設教室の前で(2018年3月) ©T&A

たつて池田先生と交流を重ねてこられました。私は、池田先生と2回しかお会いしていません。でも心の中で生じています。先生は私たちの中で生きているんです。私がいるから悲しむのはいいけれど、悲しむのはいいけれど、



最愛の父の恩子たち
ちゃんとお会い ©T&A

ご感想をお寄せください
sdgs@seikyo-np.jp

右一聖教電子版の「SDGs
特集ページ」が閲覧できます。
左一海外読者の記事の英語版を読むことができます。



勉強になつても「夢」へ挑戦

——男性の育児参加が進んでいますが、父親の役割として重要なことは何でしょうか。

私の言うことは、ちょっとハードが高いんですが、いいですか？



創価大学連携教育部の定期試験が開催される(2019年8月 東京・八王子市)

地球が輝き続ける、まちづくりを。

私たちは「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」

という経営理念のもと、手掛けた建築・インフラのひとつひとつを丹精込めてつくってきました。

これからも豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 <https://www.takenaka.co.jp/>

本社:〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13

Tel:06-6252-1201

東京本店:〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

Tel:03-6810-5000



スタンフォード大学の留学中、親友3人で恋のひととき

——と思います。

反対に「子どもが何かをよくできたら自分の成果」「失敗したら、自分の失敗」——そう考へて、「完璧にやらない」と思つて、アを待つて、子育てをエンジョイすることです。例えば、いすゞ車の「親から受けた愛情をそのまま伝えられる車」が、車の運転席に「親の悪さをよく思つたな。一体誰に似たんだろう？」って(笑)。

子育てで得られる喜びは、人生において貴重なもの。そして子どもたちは、親から受けた愛情や温かな言葉に、ずっと支えられしていくだと思います。

——一体誰に似たんだろ

う？」って(笑)。

母親も安心です。子どもの心にも余裕が生まれます。

父親も、100%やるつもりで育児に取り組んだほうが大きな満足感を味えます。本当に毎日がキラキラ輝きますよ！

——今、世界の各地で紛争が続いている。平和を

築くために教育が果たす役割について考へて教えてください。

教育を通して世界平和を実現するといつも私は、私たちの夢ですが、現実ながら現実には、高校生が好戦的だったり、自分のことしか考えられないからなります。私たちもいます。私は和平を築く上で大切なことがあります。『見て見ぬふりをしないこと』だと思つています。一番大事なのは、事実を知ること。そして、自分が何ができるのかを考えてみること。何よりも大切なのは、思いを寄せることがあります。

——私は、私の生前の

一番大切なメッセージだと思いました。本当によく聞きました。本当によく思つてました。それがよく聞かれる言葉つてないですよね。こう見えども結構、年なんですか？(笑)でも声の繋がりを感じます。だからも和のために歌い続けていきたい——そう思つています。



泰弘さん(左)が今も続ける1日5000歩の挑戦。「私がやつたら、ようできん。ええ根性してますわ」と一男さん(中)とまさ子さん(右)。上本さん一家はこれからも、笑って歩み続ける

息子を襲った2度の苦難に負けず

【堺市北区】おかしくて、悲しくて。つらくて、たくましくて。大阪のド根性を、この夫婦に見た。夫の上本一男さん(73)=副本部長二と、妻

のまさ子さん(75)=地区副女性部長。「楽しい人生に満ちていますわ」ほんまに楽しい福運いっぱいの人生ですわ。」

だった。

夜になつても蒸し暑かつた、
2000年(令和2年)7月の
その日、電話が鳴った。「息子
さんが交通事故で意識不明の
重体になりました。」

夫婦はさあ病院急行した。
親類の先には、たゞさんの管に

つながれた次男泰弘さん(41)
が、重機車の痛い姿があ

った。診察室で医師に説明され
た。「おや頬(頬骨)が折れました。
頭の骨が折れている。」

「夫婦の心が胸、流れの
かしないやないか。」夫婦は
御本尊に向かつた。同志も祈り
を合せてくれた。手荒から20
歳後、泰弘さんが癒されました。

高齢で機械を使つたものの
、やはり支えられた泰弘さ

んに恩返しと泰弘さんはリ
ハビリに懸念した。3年後に

看護師事務員学校へ入学し、免

見上げながら一人ぼさ

した。

泰弘さんは1週間後
に實習を取り戻す。だが、耐え

がたい現実に直面した。左手足
が全く動かない。寝たきりの入

院生活。真っ白な病室の天井を
見上げながら一人ぼさ

した。

泰弘先生と共に勝

とうと決めたんだ」「

ビンチで氣張るに根性。一男
さんとまさ子さんは、明るい顔

で、病室の息子を訪ねた。胸に響
くは、師匠の「頑張れ、頑張

れ」という大声援。

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、
毎朝元気の椅子に座つて泰弘さん
の話を聞いてくれた。「冬は必
ず春となる」。新16.6.9.6.全
1253。御文をメモした紙

も見えないトンネルで語り続け
た。

そして――親の大確信が息子
に届く。泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

許を得取。料理人として、社会
復帰を果たした。「一男さん
とまさ子さんは、そう思つた。
まさ子さんは群を抜いている。

生きてもしやがない」との一声はつらがつた。一男
さんとまさ子さんは、頭では平
静を装いながら、心はどん底だ
った。

宿命 笑い飛ばしまつせ

訪問ボランティアのマジックショーが人気



「麦畠」を歌う時には、夫婦で衣装を替え
ンジ。観客も声を合わせて盛り上がり

【おぞなわ】息子を襲った2度の苦難に負けず
て。たくましくて。大阪のド根性を、この夫婦に見
た。夫の上本一男さん(73)=副本部長二と、妻

のまさ子さん(75)=地区副女性部長。「楽しい
人生に満ちていますわ」ほんまに楽しい福運いっぱいの人生ですわ。」

夫婦はまだ病院急行した。
親類の先には、たゞさんの管に

つながれた次男泰弘さん(41)
が、重機車の痛い姿があ

った。診察室で医師に説明され
た。「おや頬(頬骨)が折れました。
頭の骨が折れている。」

「夫婦の心が胸、流れの
かしないやないか。」夫婦は
御本尊に向かつた。同志も祈り
を合せてくれた。手荒から20
歳後、泰弘さんが癒されました。

高齢で機械を使つたものの
、やはり支えられた泰弘さ

んに恩返しと泰弘さんはリ
ハビリに懸念した。3年後に

見上げながら一人ぼさ

した。

泰弘さんは1週間後
に實習を取り戻す。だが、耐え

がたい現実に直面した。左手足
が全く動かない。寝たきりの入

院生活。真っ白な病室の天井を
見上げながら一人ぼさ

した。

泰弘先生と共に勝

とうと決めたんだ」「

ビンチで氣張るに根性。一男
さんとまさ子さんは、明るい顔

で、病室の息子を訪ねた。胸に響
くは、師匠の「頑張れ、頑張

れ」という大声援。

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

泰弘さんは追憶後も自
主的にハイヒールを履いて、歩き続け
た。しんどいと雨が降る日も歩い
た。「さすがに、さよはやめ
ておいた」など、「男さんとま
さ子さんは声をかけた泰弘さ
んは、「これくらいなら行ける
わ」。靴を履きながら、ボッ
タリと話した。「僕が歩
くことは誰かの希望にな
るから」など、誰かの希望にな
るから自分のためにも負けられ
へんやん」

私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心。

だれかの笑顔。

だれかの願いだから。

あたりまえの日常を、ささえづけるために

つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDENKO

